

## No2466 犬鳴山行者道

日時：6月14日(日)

参加：曾和、山城、宮本、佐々木(L.記)

梅雨入りで心配した天気も、曇りとまあまあ一安心。

泉佐野からバスで約30分、犬鳴山へ。曾和さんは、車で現地集合してくれました。皆さん、久しぶりの山との事、あまり無理はできそうにない。

犬鳴温泉街を抜け、沢沿いにいくつもの祠や石仏を見ながら、滝道を本堂に向かう。大峯山より開山が古いと云われる、山岳宗教修験道の聖地である犬鳴山は、この不動谷一体にわたる七宝滝寺の山号との事。

本堂下で一服し、大きな不動明王に手を合わせ行者の滝へ。行場とあって、滝下から中腹にかけて鎖が掛り、水行の様相をなしている。前日の雨の為か水量が多いようで、飛び散るしぶきが足元を濡らすようである。

少し戻って鳥居をくぐり、表行場道へ入る。一般道ではないので、要注意。

いきなり、ロープの垂れ下がる一枚岩が正面に現れる。滑らぬように慎重に登る。

いたる所にロープがめぐる急登を喘ぎ喘ぎこなすが、風がまったく無く蒸し暑いため予想以上にキツイ登りとなる。

役行者を祀る大きな祠にまで上がり、ホット一服。まだ登りは続くが所々で風の流れが有り、先に光明が見えてきた想いである。

一時間強の登り一辺倒から解放されたのは、尾根筋から五本松・和泉葛城山への縦走路に出た時でした。間もなく高城山(649m)着、我々だけの小広いスペースでゆっくり昼食にする。

昼食後は、それこそ一般のハイキング道を一気に本堂下へと下る。休憩所で一服し、気合を入れ直して不動明王の裏手から反対側の山へ登り返す(裏行場道につながる道だ)。

またもや、苦しい行の始まりだ!

40分程の短いとはいへ、足元の悪いつづらおりの登りをこなさねばならない。

一端休憩モードになった体は、足を引っ張るように重い。所々で出迎えてくれる石仏を見ながら、ただ黙々と山頂を目指す。

経塚権現山(天狗岳 558m)を、本日の第2ピークとして休憩。大天上ヶ岳からの下り(裏行場道)は、危険であり体力的にも本日は中止としてピストンで下山する。

前日までの天気雨予報もあり、ハイカーは2~3パーティーと少なく、特に行者道の登山者は全く無い静かな山を怪我なく楽しむ事が出来ました。

あちらこちらの祠で頭を下げて行修行をして、日頃の禊をした一日でした。感謝!



<参考タイム>

犬鳴山バス停 9:50-10:20 本堂下 10:30-行者滝-表行場-12:00 高城山 12:40-  
13:15 本堂下 13:30-14:15 天狗岳 14:30-15:00 本堂下 15:20-15:55 犬鳴山バス停  
(16:24 のバス) (行動 6:05)